

# 大和

# 勲

# For ISESAKI & GUNMA

～伊勢崎・群馬のために～

県政報告書 4



## 群馬県議会議員 大和 勲

### ふるさと、群馬の発展願う

県議会・一般質問

明けましておめでとございます。

昨年5月には17会場で県政報告会を実施し、8百名以上の皆様に集まって頂きました。また、9月27日には第2回目となる一般質問を行いました。大勢の方に傍聴参加頂き有難う御座いました。詳細をご報告させていただきます。

#### 『県総合戦略について』

大和 基本目標一、「群馬で暮らし始めたい」について、お尋ねします。東京交通会館内に「ぐんま暮らし支援センター」を開設するなど移住促進に取組んでいます。移住相談件数はどのように推移し、どのような相談が多いか伺いたい。

企画部長 本格的移住促進の取組みを始めた昨年度は26年度約3倍の651件と大幅に増加し、仕事や住まいに関する相談が目立ちます。大和 東京における移住相談体制はどのような体制になっていますか。

企画部長 東京にある東京事務所、ぐんまちゃん家、支援センターの3つの機関いずれも相談できる体制を拡充したところです。大和 県は移住促進の為、市町村とどのような連携をしているか伺います。

企画部長 「ぐんま暮らし推進連絡会議」が設置されており、28年度の移住相談会は24

市町村の参加が予定されているなど、市町村と連携して移住促進にしっかり取り組んでまいります。

#### 『外国人児童就学状況』

大和 外国人の小中学校の編入について、または市により対応がまちまちと聞くが、県としてどのような対応をしているか伺いたい。

教育長 どの学年に編入するかは決定は市町村教育委員会が行っております。県としてはコーディネーターの役割を担い、市町村教育委員会の支援に努めているところでございます。

大和 公立高校入試での外国人生徒に関する要項について、具体的かつ明確な表記により外国人の不安の解消が必要と思いますが、所見を伺いたい。教育長 時代の変化や社会状況等踏まえて、よりわかりやすい要項に改善してまいります。

大和 外国人を支援しているNPO法人等との連絡、情報交換について、現状はどのよ

うな連携をしているか、お尋ねしたい。教育長 県と市町村教育委員会が連携し、さらにNPO法人などを交え先進的事例提供など情報交換会を行い、連携強化を図っています。

#### 『ものづくり立県の推進』

大和 基本目標二、「群馬に住み続けたい」為には、仕事をつくる必要があることから県内中小企業への支援と取組みについて伺います。



産業経済部長 大手企業向け展示商談会をこれまでに合計15回実施し、新たな取引が生まれ、成約金額も4億6千万円を超えました。

#### 『群馬で家族を増やす』

大和 基本目標三、「群馬で家族を増やしたい」イメージづくりが重要と思うが、県の取組みについて伺います。

子ども未来部長 結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」の開設や、全国初となる「ぐんま結婚支援パスポート事業」を10月からスタートします。更に、市町村や民間企業などの知恵や力を借りながら、社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成を図っていきます。

大和 特定不妊治療助成制度について伺います。子ども未来部長 28年から助成金を30万円に引き上げ、新たに男性に対する高度な治療も対象に加わるようになりました。

#### 『子ども医療費助成』

大和 本県が最初に取組んだ子育て世帯の経済的負担を軽減する「中学生以下医療費無料制度」を積極的にアピールすべきと考えるが取組みについて伺います。

健康福祉部長 「子育てネット」「ぐんまちゃんナビ」や企業誘致の案内パンフレット等を活用して幅広く若い世代にPRを考えます。

## 会 報 告 書



昨年5月に名和地区・豊受地区・茂呂地区・境伊与久地区内17会場で県政報告会を実施しました。1年間の政治活動を報告し、皆様の意見や要望を承りました。今年も、各地区で実施予定。ご要望があれば他会場でも行います。

#### 『いきいきGカンパニー』

大和 「群馬県いきいきGカンパニー認証制度」の経緯と現状について伺います。産業経済部長 27年度に育児・介護休業制度の利用促進ワークショップ、バランス推進や女性の働きやすい職場づくりに取り組む企業を応援する制度として創設し、商工会議所、商工会などを通じて広くPRを行っています。認証事業所数は1680カ所となっています。

#### 『医療費の適正化』

大和 社員の健康維持増進が業績向上につながる健康経営の普及に向けた取り組みと進捗状況をお伺いしたい。健康福祉部長 28年1月に全国健康保険協会群馬県支部と包括的な連携協定を締結し、3月には「地域・職域連携推進協議会」を設置しました。今後企業と連携した健康づくりに取組み、医療費の適正

#### 『ぐんま元気の5か条』

大和 健康寿命の延伸、県民運動「ぐんま元気(GENKI)の5か条」の制定意義と今後の活用を伺いたい。知事 健康を支える生活習慣として身に付けてほしい基本的な実践事項を5つのポイントとしてあげたものです。このような取組みは医療費の抑制に寄与するため、オール群馬で健康寿命の延伸につなげていきたいと思っております。

他にコンピュータ等で扱う情報安全対策についても質問を行いました。